



東日本ユニオンにいがた

<http://niigatachihon.yukigesho.com/>

JR東日本労働組合新潟地方本部

2025年11月5日発行

第16号（通巻第376号）

発行者：星山 圭 編集者：組織部

2025年度年末手当 全社員一律 3・7ヶ月分

JR労働者の力を
集め実現しよう！



年間最低6.5ヶ月分以上が必要と主張！

本部申11号・2025年度年末手当に関する申入れ 団体交渉

中央本部は10月31日に申11号・2025年度年末手当に関する申入れについて、第1回目となる団体交渉を行いました。
組合側より要求の趣旨を説明するとともに、経営側からは現状認識と年末手当交渉に対するスタンスが示されました。

組合側の主張 社員の努力に報いる手当を

期末手当の支給水準に会社を成長させていると指摘し、経営側はすべての社員の努力に真摯に向き合う責任があり、利益に直結する社員の奮闘に対して支給額を抑え込み、人件費でコントロールする経営側の出し渋りは認められないと主張しました。

直近の業績が好調に推移していることや、好業績は社員の奮闘により生み出されていることを指摘し、新たな働き方を通して、社員一人ひとりの生産性は大きく向上していることを主張しました。

社員はこの間、急速に進む組織の再編や働き方に戸惑いと不安を抱きながらも、鉄道会社の使命と誇りを見失うことなく、確実

経営側の認識 社員一丸の取り組みに感謝

経営側は、構造改革を推進し、JR東日本が成長することができたのは、社員一丸となった取り組みの成果であり、それが決算の数字に表れているとの認識を示した上で、今後は「勇翔2034」のもと成長軌道をさらに大きくステージアップしていくことを目指すとした。

「3・7ヶ月」要求実現に向けて 続々と本音の意見が寄せられる

東日本ユニオンが要求を決定し申入れを行って以降、年末手当に対する本音の意見が続々と寄せられています。

要求実現に向けて、私たち東日本ユニオンにみなさんの知恵と力を貸して下さい！

・社員と家族の幸せを考えるなら、3・7ヶ月は出せるはず。むしろ足りないくらいだ
・会社の経営状況は好調、物価も毎月様々なもの上がり、今は6カ月で

JR東日本 第2四半期決算発表 通期業績予想を上方修正 5期連続増収増益を実現

JR東日本は10月30日、2025年度の第2四半期決算を発表しました。これによると、連結・単体ともに5期連続の増収増益を実現しました。

連結では鉄道の利用増やエキナカ店舗の売上増などにより、営業収益が対前年104・9%の1兆4630億円となりました。

中間純利益は投資有価証券売却益の増などにより、対前年105・3%の1472億円でした。

セグメント別では、運輸事業が増収増益となったのははじめ、全てのセグメントで増収となりました。

旅客輸送量は新幹線・在来線ともに増加、それに伴

横浜地本で 新たな仲間が加入！



新たな仲間と共に
がんばろう！

・今の給料では月々の生活で貯蓄もできない。ボーナスも返済ですぐになくなってしまう

・来年、運賃が改定となる。社員への還元も大切だ。

JR東日本第2四半期決算 営業収益の推移

